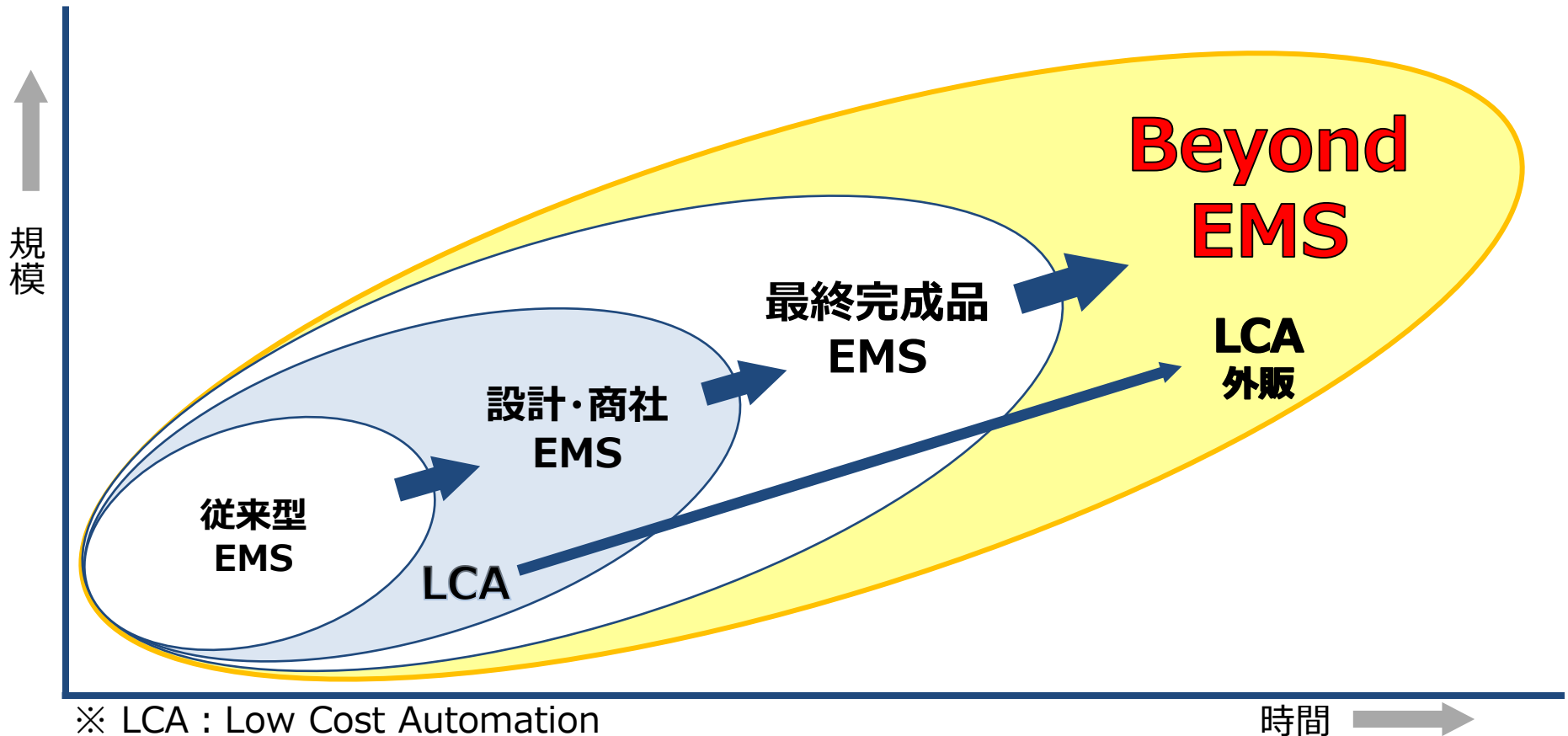


Change UMC, beyond EMS

新中期経営計画
(2018～20年度)

ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社
2018年5月

Change UMC, beyond EMS



自由貿易環境の変化

- 特定の一地域で生産し、世界各地の顧客へ届けるビジネスモデルが保護主義の影響を受けるようになってきた

市場要求の急激な変化

自動車

- EV・PHV・自動運転・コネクテッド化による電子化の加速
- 世界各国の意欲的なEV導入
- 製品のグローバルモデル化

産業機器

- IoT・AI・クラウド活用により情報インフラの需要拡大
- 省エネ・ロボット・自動化の拡大

さらなるグローバル生産拠点ニーズの拡大

1 日立製作所様との協業

- ✓ サーバ・ストレージ完成品生産
- ✓ 半導体試験装置完成品生産
- ✓ 日立製作所製品の生産拡大
- ✓ UMC海外拠点でのサーバ・ストレージ生産の可能性
- ✓ 車載製品の取り込み
- ✓ 製造キャパシティの拡大
- ✓ 人財の融合
- ✓ スマートファクトリーへのノウハウ活用

2 お客様のニーズに即応

- ✓ 全拠点で新規プロジェクト拡大
- ✓ 車載機器分野ビッグアカウント拡大
- ✓ 産業機器分野ビッグアカウント拡大

3 2大消費地への対応：地産地消

- ✓ アジア・アメリカ市場を中心とした多拠点化
- ✓ 中国 東莞工場拡張
- ✓ 中国 武漢に新生産拠点を検討
- ✓ アメリカに新生産拠点を検討
- ✓ その他、さらなる新生産拠点の拡大検討

4 「モノづくり力」の強化

- ✓ 設計上流からの取り組みによるSE活動
- ✓ 製品立ち上げ日程短縮
- ✓ 高品質な製造ライン
- ✓ エンドユーザーへの直接納入
- ✓ LCAの生産規模拡大、そして外販へ
- ✓ スマートファクトリーの実現

重要施策①：日立製作所様との協業

日立製作所様説明資料（5月9日発表）より抜粋

モノづくり強化の取り組み

2018/4/3 UMCエレクトロニクス社とモノづくり強化協業で基本合意

日立ストレージの
高品質なモノづくり力 + UMCエレクトロニクス社
ボリュームオペレーションの
コスト競争力

競争力ある新たな製造業の
ビジネスモデルを確立

高品質かつコスト競争力の高い日立ブランドのストレージを
需要が急拡大するデータセンター市場向けをはじめとする、
国内外の幅広いお客さまに提供

UMCエレクトロニクス社：ユ・エム・シー・エレクトロニクス株式会社 © Hitachi Ltd. 2018. All rights reserved.

【秦野拠点】

◆ 敷地面積：約19万㎡（延床面積：1.8万㎡）

【郡山拠点】

◆ 敷地面積：約7万㎡（延床面積：2,400㎡）

秦野拠点 敷地面積：約19万㎡（東京ドーム4個分）

世界最先端クラスの高効率・高品質を維持する
ノウハウと技術カクローバル生産を支える
マザー工場機能

製品



郡山拠点

コスト競争力と高品質・高信頼を保持し、
生産変動に迅速に対応できる生産ノウハウ

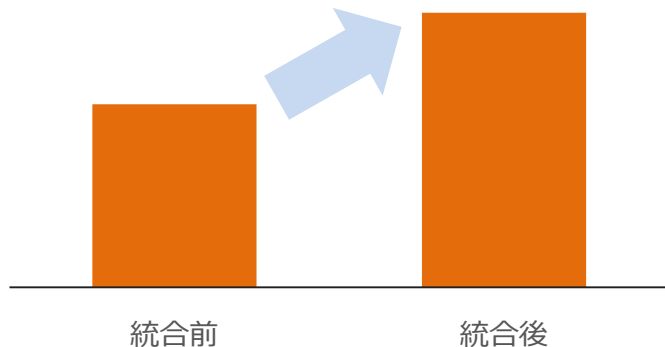
製品



日立製作所様資料より抜粋

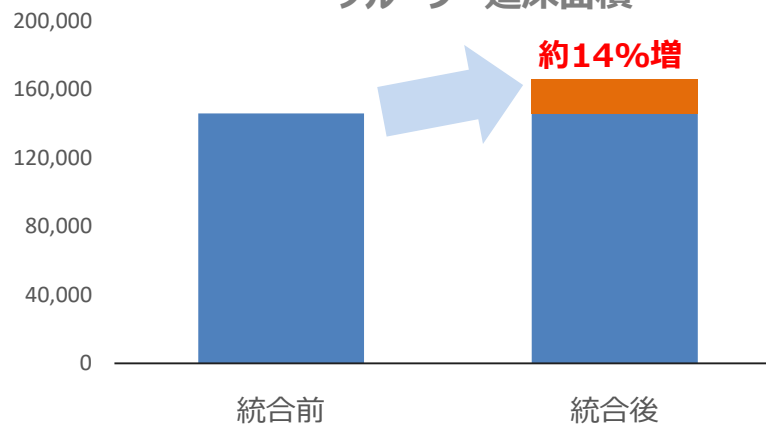
グループ工場生産高拡大

工場生産高ベースで約30%増



グループ 延床面積

約14%増



重要施策①：日立製作所様との協業

アドバンテスト様より半導体試験装置のシステム製品の製造も受託



従来の製造受託

ボード製造 SMT工程の受託

前工程SMT

検査・出荷



株式会社日立製作所との協業で
受託業務の範囲を拡大へ

システム製品の製造を受託

組立

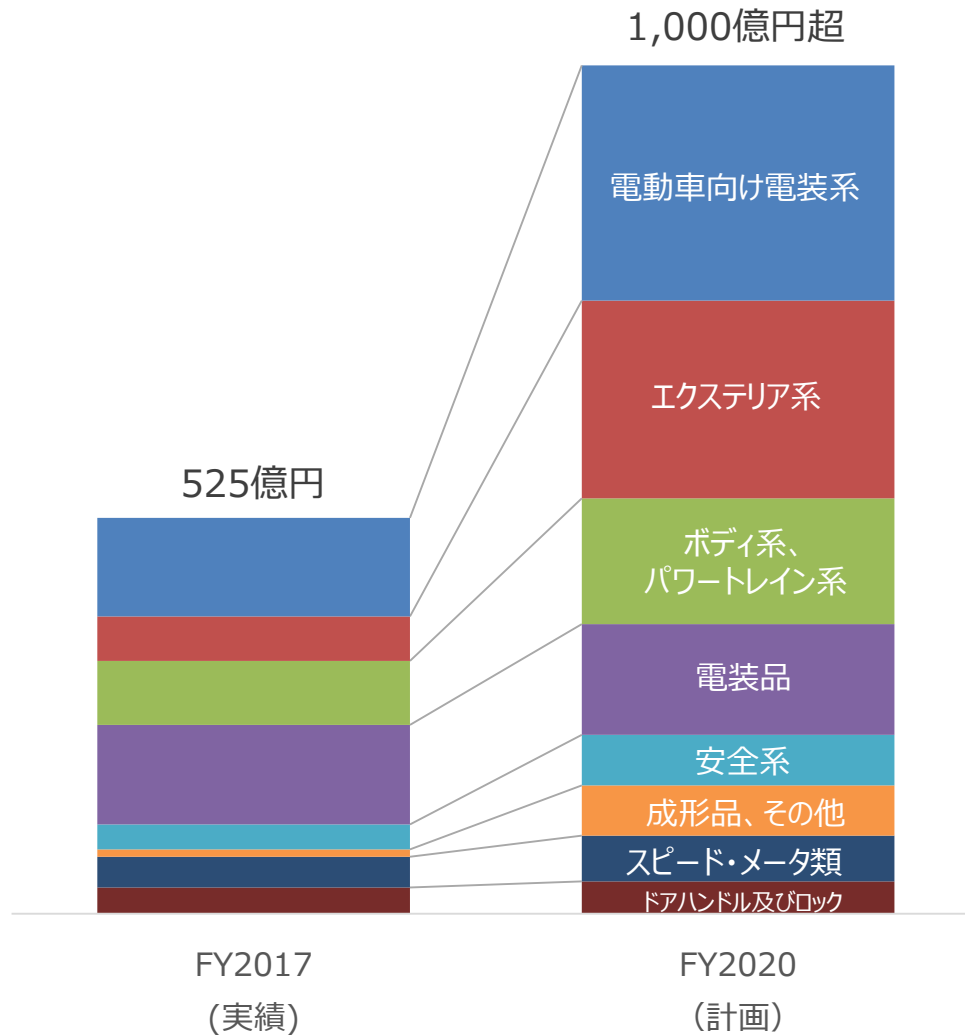
検査

梱包・出荷

半導体・半導体試験装置の需要動向

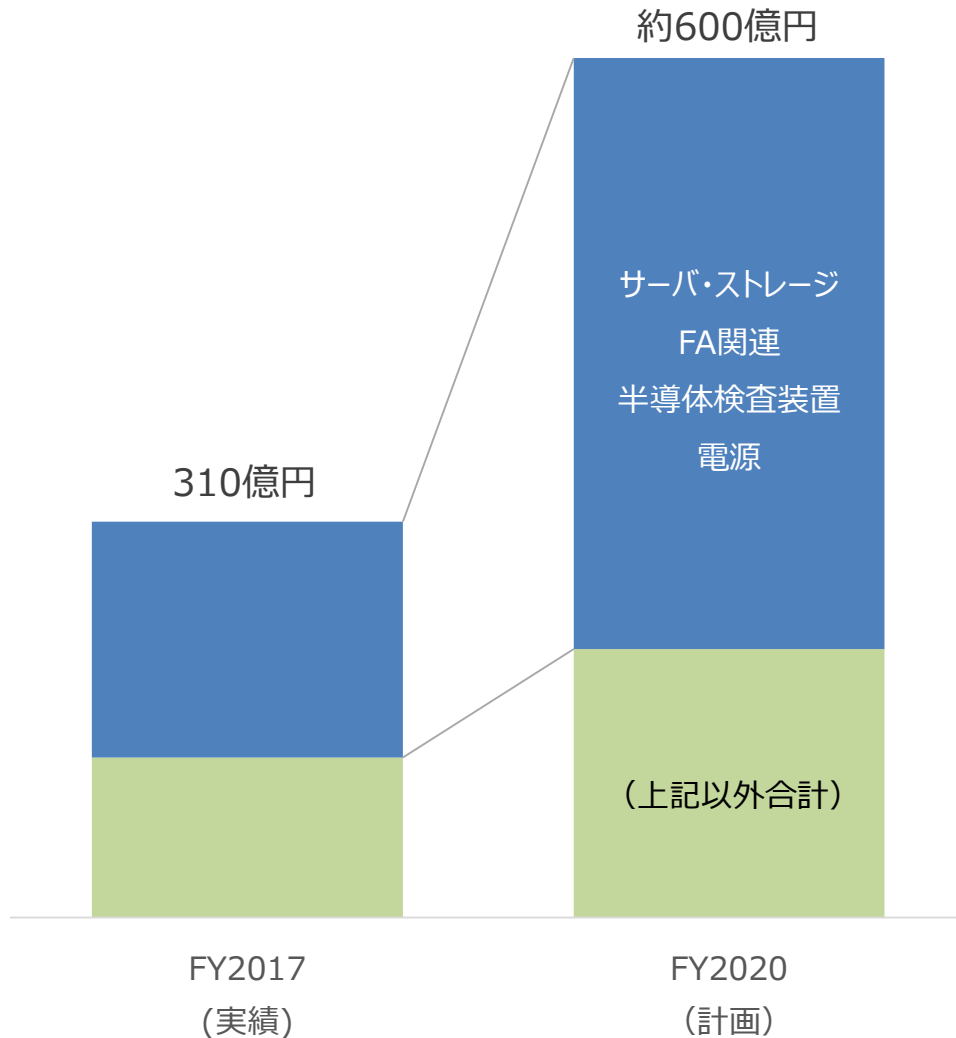
- ・IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）といった次世代技術が具現化し、データ爆発（Explosion）といわれる情報量の拡大が進行。
- ・データ処理速度の高速化で、データセンターは、HDDからSSDへシフトし、半導体メモリや処理プロセッサのニーズも、飛躍的拡大。
- ・18年後半から5Gの携帯電話基地局投資が本格化。高速で瞬時の接続により、Fintech、産業向けデータ通信量が大幅に増え、サーバー・ストレージも拡大へ。
- ・車のEV化や自動運転、HPC(High Performance Computing)、有機ELディスプレイドライバを含む、息の長い、“半導体スーパーサイクル”を迎えている。

車載機器 内訳



- 電動車（EV・PHV・HV）関連製品の量産開始と業績貢献
- エクステリア関連製品の量産開始と業績貢献
- ボディ系・パワートレイン系製品の拡大
- 電装品の拡大
- ブレーキ等安全系の拡大
- 成形品の拡大

産業機器 内訳



- 情報インフラ関連
(サーバ、ストレージ)
- FA関連
- 半導体試験装置
(秦野工場での量産スタート)
- 電源基板ビジネス

重要施策②：お客様のニーズに即応

全拠点で新規プロジェクト進行中（立上時期：2018～2020年）

中国拠点

製品分野	用途
産業機器	低圧/高圧電源
産業機器	3Dプリンター
コンシューマー	電子タバコ
車載機器	エンジン回り電装系①
車載機器	エクステリア系①
車載機器	エンジン回り電装系②
車載機器	エンジン回り電装系③
車載機器	エンジン回り電装系④
車載機器	エクステリア系②

日本拠点

製品分野	用途
産業機器	半導体試験装置
車載機器	エクステリア系
車載機器	エンジン回り電装系①
車載機器	パワートレイン系①
車載機器	エンジン回り電装系②
車載機器	パワートレイン系②

メキシコ拠点

製品分野	用途
車載機器	ボディ系
車載機器	エクステリア系

タイ拠点

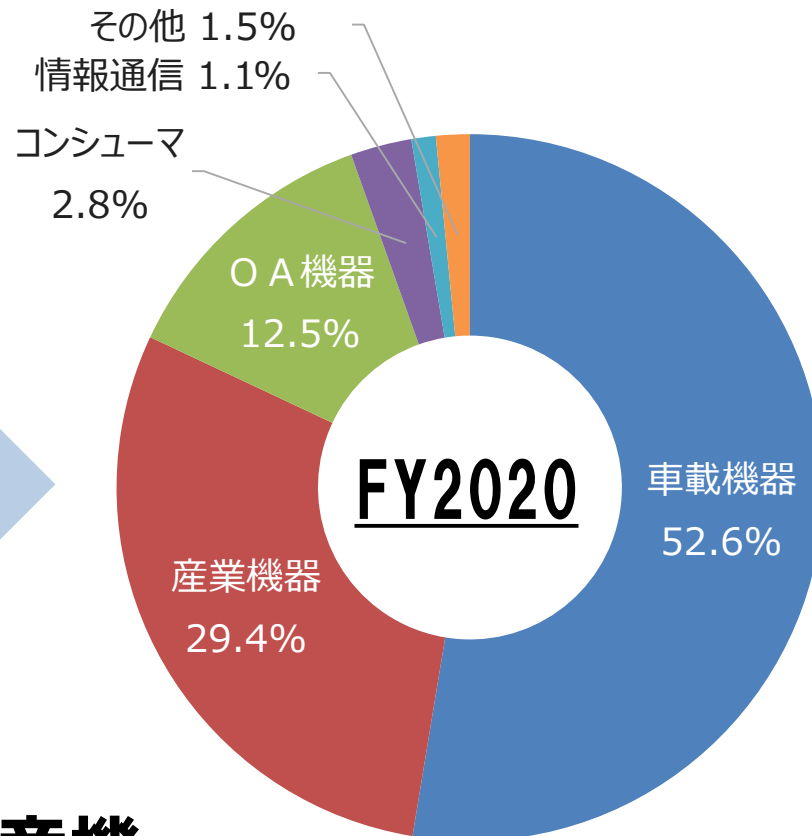
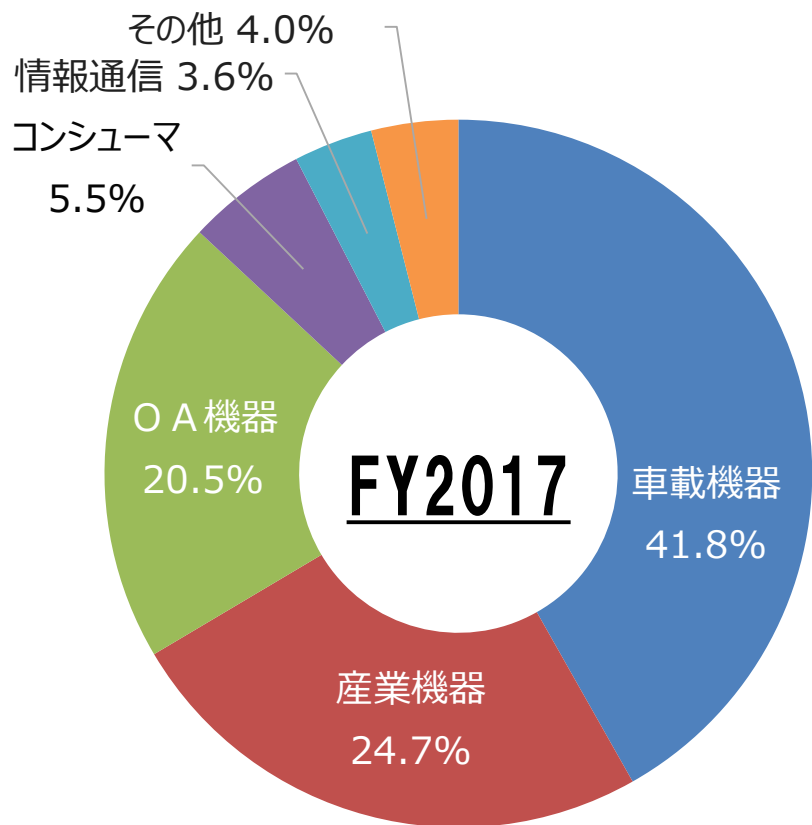
製品分野	用途
車載機器	エクステリア系①
車載機器	電装品
車載機器	エクステリア系②
車載機器	エンジン回り電装系
産業機器	インバータ
車載機器	エクステリア系③

ベトナム拠点

製品分野	用途
車載機器	エクステリア系、電装品
OA	シェアアップ

重要施策②：お客様のニーズに即応

用途別売上構成比



車載+産機

66.5% → 82.0%

重要施策②：お客様のニーズに即応

UMCの特長・強みを多様なお客様の受注につなげる体制・活動

PM体制 (Program Manager)

ターゲットのお客様に対して専任体制をもって、そのニーズに100%お答えする提案をし、長期的パートナーシップを構築する

Fast & First

Quick Response

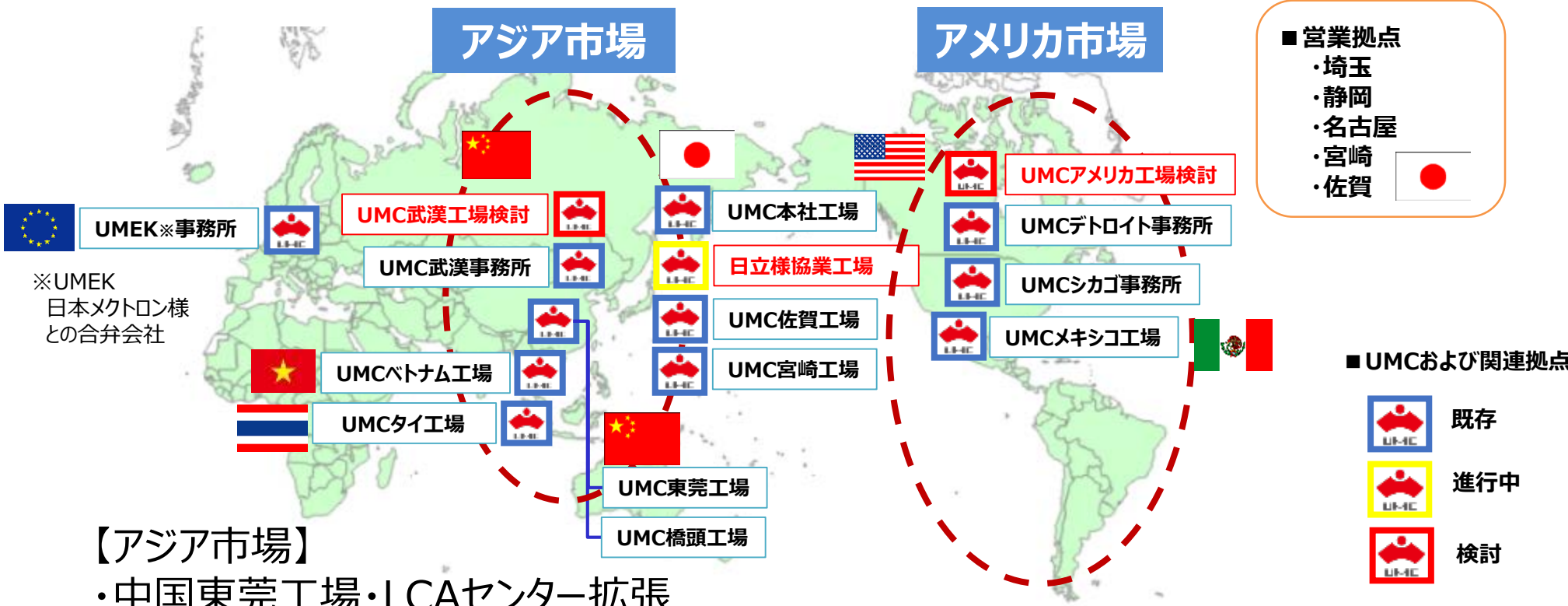
ビッグアカウント攻略

- | | | |
|---|-----------------------------------|------------------------------|
| 1 | モノづくりのノウハウを先導する業界TOPメーカー | SE※提案によりお客様とともに新たな工法・技術を見出す |
| 2 | モノづくりはサプライヤー企業に一任し、自身は技術に注力するメーカー | UMCのモノづくり力を前面に出したファブレス的アプローチ |
| 3 | 既存製品分野で専門TOPメーカー | お客様の「困りごと」を解決するプランをUMCが用意する |

※ SE : Simultaneous Engineering (同期技術)



重要施策③：2大消費地への対応：地産地消



【アジア市場】

- ・中国東莞工場・LCAセンター拡張
- ・中国は、武漢に新生産拠点設置を検討する
- ・ベトナムのLCAセンター拡張

【アメリカ市場】

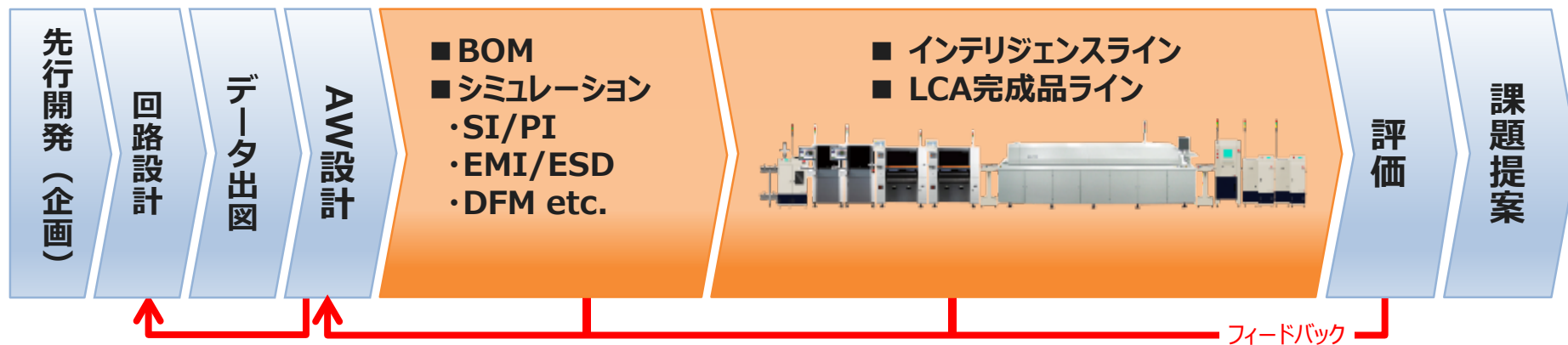
- ・メキシコ工場生産開始
- ・アメリカに新工場の建設を検討する
- ・設計開発サポートをアメリカで取り組む

重要施策④：「モノづくり力」の強化

設計上流からの取り組みによる、日程短縮、高品質な対応

PM活動

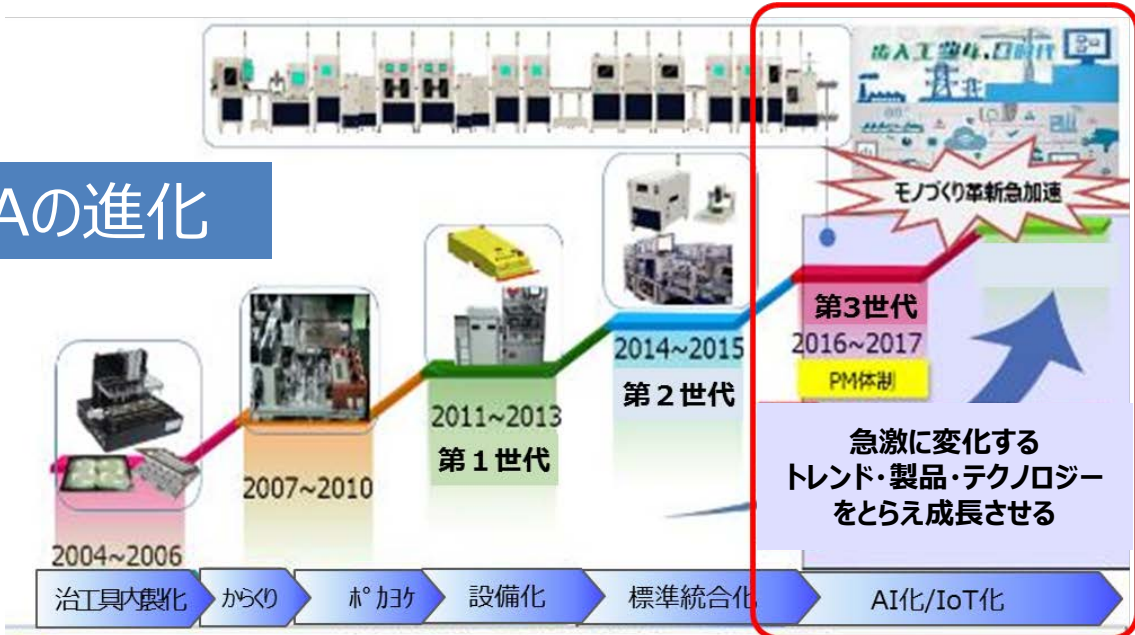
お客様と課題を共有し問題解決（SE活動）





重要施策④：「モノづくり力」の強化

LCAの進化



LCAの全拠点展開

- ・中国を基幹工場とした、仕組み・体制の海外への移植（人材の強化）

将来的なLCA外部販売

	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018(計画)
LCA生産台数	154	404	536	900

■ LCA開発規模の拡大

中国拠点：
東莞工場において、生産スペース及びLCAセンターを拡張予定。
LCAセンター：1,500㎡→6,000㎡

ベトナム拠点：
新たに1,440㎡のLCAセンターを建設予定。
LCAセンター：640㎡→2,080㎡

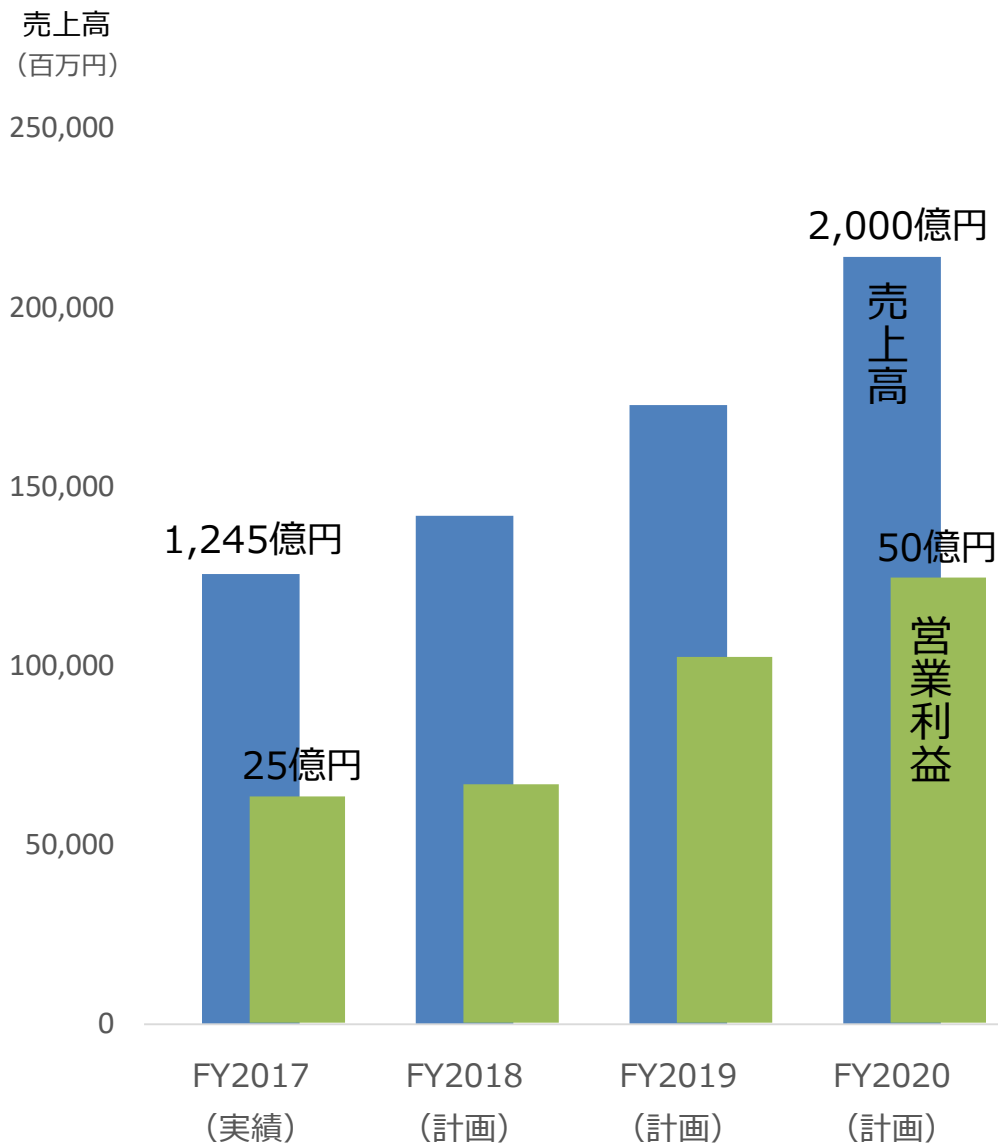


ベトナムLCAセンター完成イメージ

LCA+日立製作所様のソフトでスマートファクトリーへ！



売上/営業利益計画



営業利益 (百万円)

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

2020年度目標

連結売上高：2,000億円
連結営業利益：50億円

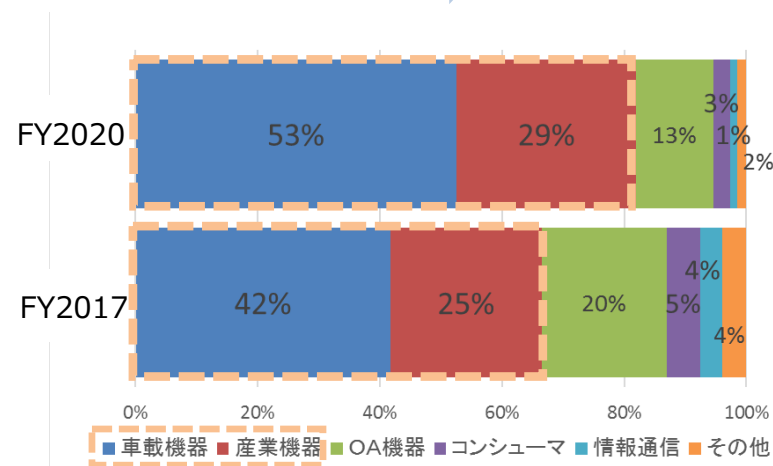
車載機器+産機機器構成比

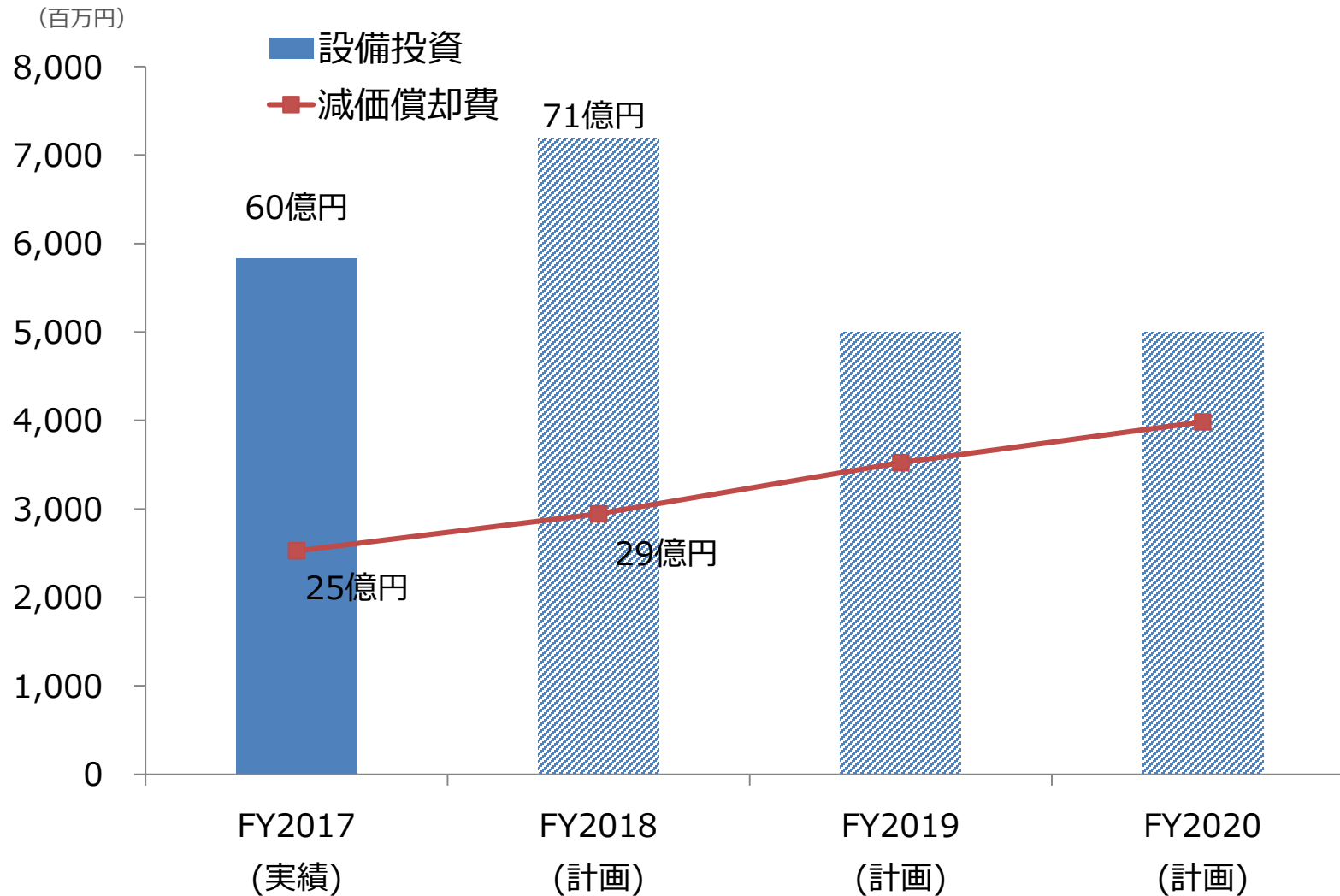
FY2017

67%

FY2020

82%





- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、投資活動の勧誘や特定の銘柄への推奨を目的としたものではありません。
- 当社が開示する情報の一部には、将来の予測および見通しに関する記述が含まれる場合があります。こうした記述は、資料作成時点における当社の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化する可能性があります。これらの予測及び見通しは、リスク及び不確実性を内包するものであり、その実現を当社が保証するものではありません。従って実際の業績の結果は見通しと大きく異なることがあり得ます。
- 本資料の内容に関しては、万全を期しておりますが、その内容の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承下さい。
- 事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を禁止いたします。

【ご照会先】 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社 管理本部 広報IR部
TEL. 048-724-0001



UMC